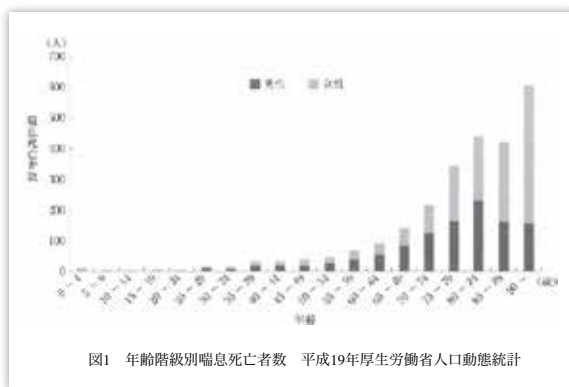


高齢者喘息

現在、65歳以上の高齢者が全人口に占める割合は25%を超え、2025年には30%まで増加すると言われています。さらに2025年には40%まで増加する事が推測されています。

こうした高齢化に伴い、高齢者喘息の有病率は年々増加しています。吸入ステロイドを中心とした喘息治療の進歩により、喘息死亡者数はかなり減少しており、1990年代では年間6000人を上回っていましたが、2016年には1454人まで減少しました。しかし、喘息死の約9割は65歳以上を占めています。(図1)



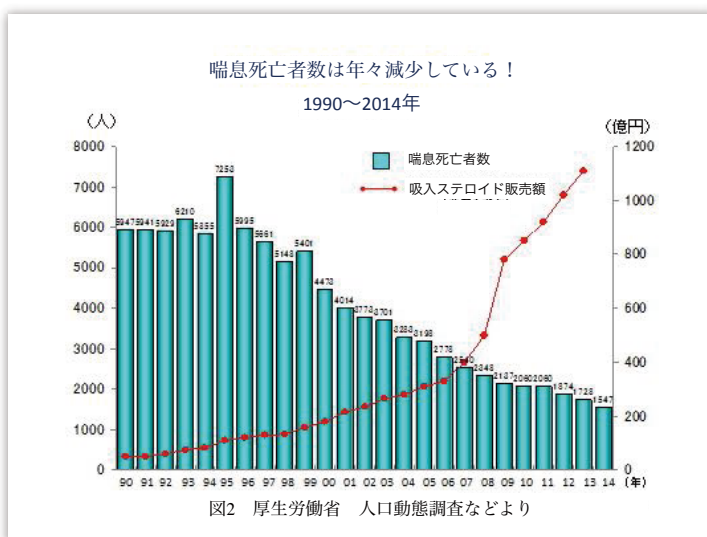
(図1)

高齢者喘息の特徴としては自覚症状の訴えが乏しい事があげられます。喘息の症状には長引く咳や息苦しさなどがあげられますが、高齢者は息苦しさを感じにくいと、症状があっても半数以上の人は加齢によるものだと思っているという報告があります。また、患者さんだけではなく、非専門医の医療従事者においても喘息は小児で発症するものという誤った概念があり、これらにより診断に至らない例や重症度が過小評価されてしまう事があるのです。

また、もう一つの特徴として、吸入手技の習得が難しい事です。喘息治療において最も重要なのは吸入ステロイドです。吸入ステロイドの普及に伴い、喘息死亡者数は年々低下しています。(図2)吸入ステロイドを毎日きちんと使用することで喘息発作を抑え、救急外来への受診や入院の頻度を減らす事ができます。しかし、高齢者においては認知症の合併、視力や感覚機能の低下、筋力の低下により吸入薬をきちんと吸入する事ができず、面倒になってやめてしまう方も多いです。だから重要な事は本人だけに服薬管理を任せるのではなく、ご家族の方もしっかり吸入ができているか等を見てあげてください。また、忙しくて日中付き添ってあげられない方も多いと思います。その場合は訪問看護師や薬剤師の支援を得る事で、少しでも協力ができると思います。もし、お困りの方がいましたら、是非ご相談ください。



内科 糸魚川 幸成



(図2)

医師紹介



常勤医/整形外科 部長

氏名 **西原 信博** (にしはら のぶひろ)

出身大学

帝京大学 (卒業年度:平成16年度)

所属学会・認定医など

- ・日本整形外科学会 専門医
- ・日本人工関節学会
- ・日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会
- ・日本スポーツ協会公認認定医、指導者

得意分野

整形外科一般、膝関節、スポーツ整形

医師より一言

令和2年4月1日付けで帝京大学医学部附属病院より異動してまいりました。

専門は膝関節・スポーツ整形ですが、整形疾患であれば迅速に対応させていただきます。お気軽にご相談頂ければと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。



常勤医/整形外科

氏名 **大森 翔平** (おおもり しょうへい)

出身大学

帝京大学 (卒業年度:平成25年度)

所属学会・認定医など

- ・日本整形外科学会 専門医

得意分野

整形外科一般

医師より一言

令和2年4月より東川口病院へ赴任しました。皆様のお役に立てるよう努めてまいります。

お気軽にご相談ください。



常勤医/整形外科

氏名 **西野 華恵** (にし の はなえ)

出身大学

帝京大学 (卒業年度:平成21年度)

所属学会・認定医など

- ・日本整形外科学会 専門医

得意分野

整形外科一般

医師より一言

令和2年4月より、東川口病院へ赴任致しました。皆様のお役に立てるよう、努めてまいります。

よろしくお願いいたします。

放射線管理士取得

レントゲンやCT検査などに代表される画像検査は、現代医療においてなくてはならない存在となっています。多大なる恩恵を受けているその一方で、被ばくによる体への影響も考えていかなければなりません。検査を行う上での医療施設にて放射線の安全管理や医療行為による被ばくの低減に努めるとともに、緊急被ばく医療へ対応できる知識や技術を身に付け、国民の安全確保に努めることを目的として作られた資格が「放射線管理士」です。

今回この資格を取得するにあたり、医療機関から患者さんへの医療情報の開示や十分な説明が求められる中、放射線の分野において、直接の行為者であるわたしたち診療放射線技師が負う責任の重要性を改めて認識することが出来ました。当院には現在3名の放射線管理士が在籍しており、最低限の被ばくで最大の画像情報を提供することが出来るよう、日々改善の努力を行っております。

放射線科 後藤



第27回 公開講座

R2年2月1日、川口市立戸塚公民館で第27回目の公開講座を開催し、206名の一般市民の方が受講されました。

今回は、外部講師をお招きし、講演1では小川賀子先生より口腔機能の維持向上がいかに大切か、どのようにしたら機能低下を防ぐことが出来るか話を頂きました。

講演2では、杉浦敏之先生から、住み慣れた地域で人生を全うするには、家族間での意思確認(人生会議)が医師にとっても治療を行ううえで大切であるとお話を、事例をあげながら伺うことが出来ました。

受講された方たちにとって、ご自分の人生を振り返るとともに、再度、健康管理、予防、もしもの時の備えについて、ご家族で話し合えるきっかけになれば…と思います。

今後もその時々々の社会情勢に応じたテーマを題材として提供し、公開講座を継続して開催していきたいと思います。

地域連携室 遠山



東川口病院写真部

東川口病院には職員同士で行っているいくつかのサークル活動があり、写真部もそのひとつ。回復期や慢性期など入院期間が長期化しやすい患者様に、少しでも季節の移り変わりを感じてもらいたいとの思いから、当院の写真好きが集まり結成されました。

普段は近隣へ季節の風景などを撮影しにいき、撮影した作品は院内廊下などに飾るなどしていますが、なんと今回は病院De Artに参加させていただきました。

ご覧になった方から感想を頂けたり、職員と患者様が会話するきっかけになっていたり、はたまた作品を欲しいとおっしゃってくれる方も現れたり、嬉しいお言葉が聞こえてきます。

御来院の際は、皆様も是非部員の作品をご覧になってください。

写真部 鎌田





東川口病院理念



皆さんに愛し愛される病院となること

理念の実行方法

- 1.適切な医療を实践、提供し、患者様の健康のサポーターになります。
- 2.近隣医療機関と連携を密にとります。
- 3.働き甲斐のある職場を皆でつくります。
- 4.人材の育成の機会をつくり、活気のある病院になります。
- 5.健全経営を維持し、継続して良質な医療を提供できるようにします。



東川口病院 外来診療について

【受付時間】 午前 (9:00~13:00) 午後 (14:00~17:30) 令和2年5月12日現在

診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	
もの忘れ外来	13:00~16:30			○			
循環器科	午前	○	(予約制) ○	12:00受付終了 ○	○		11:45受付終了 ○
	午後		(予約制) ○		○		
整形外科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	
骨粗鬆症外来 (予約制)	15:00~16:30		○			○	
外科 消化器外科	午前	○	○	○	○	○	呼吸器外科 月1(予約制) ○
	午後		○	○		○	
脳神経外科	午前	○	※休診あり 右記参照 ○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	
皮膚科	午前		○		○		
	午後	○		○	○	○	
泌尿器科	午前				○		
	午後				○		
小児科	午前	○	○	○	○	○	第2週休診 ○
	午後		○	○		○	
耳鼻咽喉科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	

☆救急及び緊急手術等で診療時間の変更になる場合がございます。予め、ご了承ください。
☆お電話での診察予約、お薬のご依頼は受けておりません。
☆脳神経外科は5月12日、6月16日、7月14日、8月18日休診です。
☆整形外科、小児科、脳神経外科、外科、消化器外科の「担当医」については、スタッフにお問い合わせ下さい。
※毎週火曜日の循環器科(橋本)の診察は時間予約制とし、新患のみ随時受付します。
※呼吸器外科 川村医師の診察は月1回の予約制となります。



現在の病院DeArt

病院deArt第九弾は、当院の院内写真による作品です。写真部は長期間入院生活をされている患者様に、少しでも季節の移り変わりを楽しんで頂きたいとの思いから結成されました。
今回の病院deArtも、四季それぞれに撮影された写真が展示されています。ご来院の際は、是非ともご覧ください。



上尾中央医科グループ 医療法人社協友会 東川口病院

内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器科・神経内科・整形外科
外科・消化器外科・呼吸器外科・脳神経外科・耳鼻咽喉科・小児科
皮膚科・泌尿器科・人工透析内科・麻酔科・リハビリテーション科

携帯サイト・QRコードから簡単アクセス!
当院Facebookもあります! 是非ご利用ください。

〒333-0801
埼玉県川口市東川口2-10-8
TEL:048-295-1000
FAX:048-295-5501
<http://www.e-kawaguchi-hp.jp>



※東川口病院へのアクセス方法※

- ・JR武蔵野線東川口駅下車 徒歩5分
- ・埼玉高速鉄道(南北線直通)東川口駅下車 徒歩5分

